

占領下の沖縄で米軍の圧政と闘った男の生き様を、貴重な映像で描くドキュメンタリー映画

アメリカ

米軍が 最も恐れた男

その名は、カメジロー

2018年5月20日(日)

札幌プラザ2・5 2階

狸小路5丁目商店街

一握りの砂も、一坪の土地も
アメリカのものではない

沖縄の戦後史、
そこで闘った男の生き様を知れば、
地続きの歴史が見えてくる。

沖縄返還45年 日本国憲法施行70年 瀬長亀次郎生誕110年

アメリカ占領下の沖縄で米軍に挑んだ男 瀬長亀次郎のドキュメンタリー映画。
なぜ沖縄の人々は声を上げ続けるのか、その原点はカメジローにあった——。

第二次大戦後、米軍統治下の沖縄で唯一人「弾圧」を恐れず米軍にNOと叫んだ日本人がいた。「不屈」の精神で立ち向かった沖縄のヒーロー瀬長亀次郎。民衆の前に立ち、演説会を開けば毎回何万人も集め、人々を熱狂させた。彼を恐れた米軍は、様々な策略を巡らす、民衆に支えられて那覇市長、国会議員と立場を変えながら闘い続けた政治家、亀次郎。その知られざる実像と、信念を貫いた抵抗の人生を、稲嶺元沖縄県知事や亀次郎の次女など関係者の証言を通して浮き彫りにしていくドキュメンタリー。

JNNだけが持つ、当時の貴重な資料映像の数々をふんだんに盛り込んだTBSテレビが本気で製作した映画が遂に公開。

2016年TBSテレビで放送されたドキュメンタリー番組が、第54回ギャラクシー賞月間賞を受賞するなど非常に高い評価を得ており、映画化を熱望する声を受けて、追加取材、再編集を行って映画化。沖縄戦を起点に、今につながる基地問題。27年間にわたったアメリカの軍事占領を経て、日本復帰後45年が経っても、なお沖縄に基地が集中するなか、沖縄の人々が声を上げ続ける、その原点……。それは、まさに戦後の沖縄で米軍支配と闘った瀬長亀次郎の生き様にあった。JNNだからこそ保存されていた貴重な未公開映像やインタビュー、そしてアメリカ取材を交えて描き切る。

筑紫哲也 NEWS 23 でキャスターを務め、
筑紫哲也氏の薫陶を受けた佐古忠彦初監督作品
テーマ音楽は作品の主旨に共感した
坂本龍一がオリジナル楽曲を書き下ろし。
語りには、名バイプレイヤー、大杉漣が参加。



アメリカ
米軍が
最も恐れた男
その名は、カメジロー

製作・原案・演出・監修 佐古忠彦
監督 佐古忠彦
脚本 佐古忠彦
音楽 坂本龍一
撮影 佐古忠彦
編集 佐古忠彦
美術 佐古忠彦
衣装 佐古忠彦
ヘアメイク 佐古忠彦
メイク 佐古忠彦
照明 佐古忠彦
録音 佐古忠彦
効果 佐古忠彦
編集 佐古忠彦
宣伝 佐古忠彦
配給 佐古忠彦
制作 佐古忠彦
www.kamejima.wapto.ne.jp

2018年 5月 20日(日) 札幌プラザ2・5 2階 狸小路5丁目商店街

4回上映 上映時間 107分 開場20分前 ①10:30-12:20 ②13:30-15:20 ③16:00-17:50 ④18:30-20:20

映画鑑賞券 一般 前売1,000円(当日1,500円) シニア 前売1,000円(当日1,300円) 学生 前売・当日共 500円

*前売券は、市内各プレイガイド(大丸・道新・教文)で取り扱いいます。 ※1枚につき1名、1回有効

主催 / 北海道平和婦人会連絡先 / TEL・FAX 011-241-0956 後援 / 札幌市 チラシ持参で、当日料金より、300円割引します。(一般・シニア)